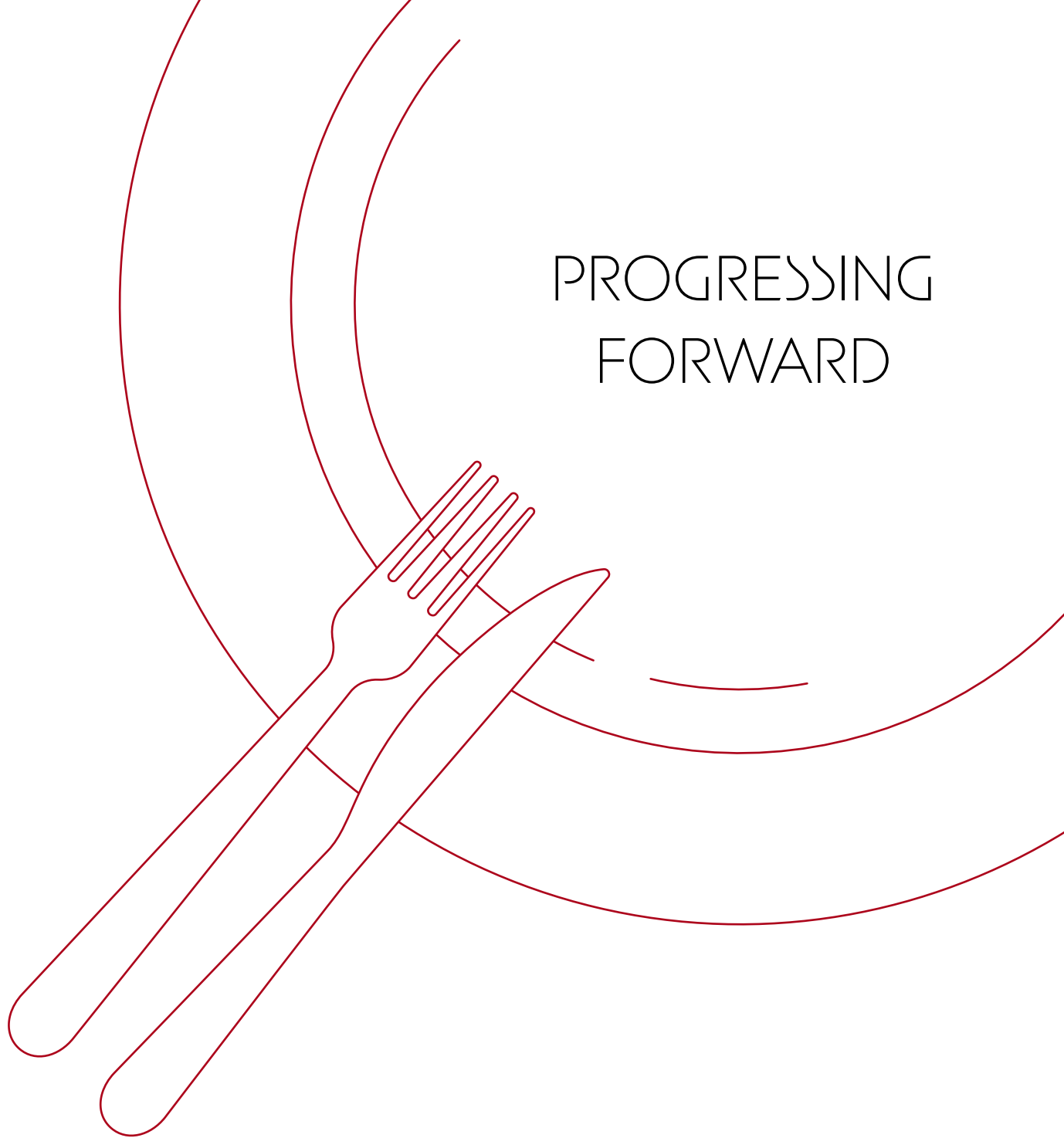


伊藤ハム米久グループ 統合報告書

INTEGRATED REPORT 2025

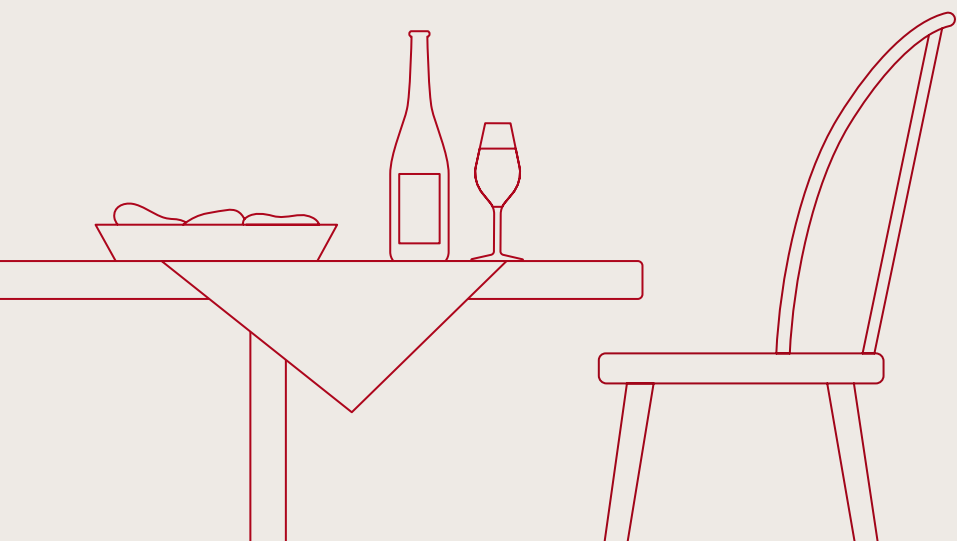
PROGRESSING
FORWARD



Where are we going?

伊藤ハム米久グループが目指す未来の姿

Becoming a leading food company

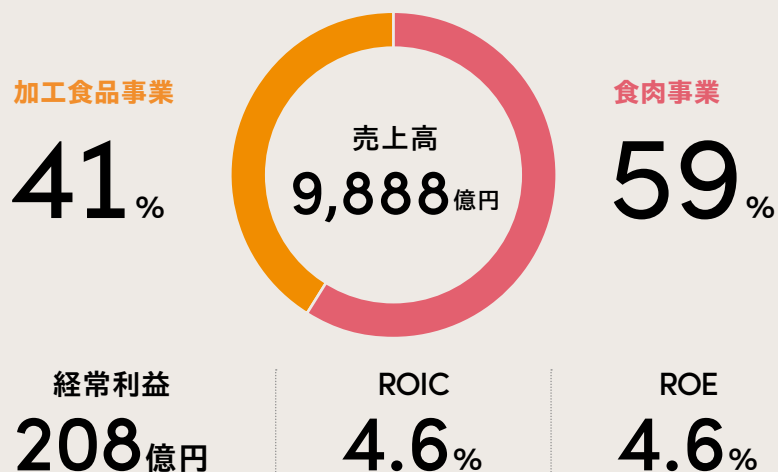


伊藤ハム米久グループの現在地

At a glance (2025年3月期)

私たちは安全・安心でおいしさにこだわりを持った商品をお客様へお届けすることを使命として国内外で事業を展開しています。これからも、食肉・食肉加工品製造のプロとして、製造・販売拠点のネットワークを活かし、世界中のお客様へ期待を超えた感動とあふれる笑顔をお届けすべく、取り組んでまいります。

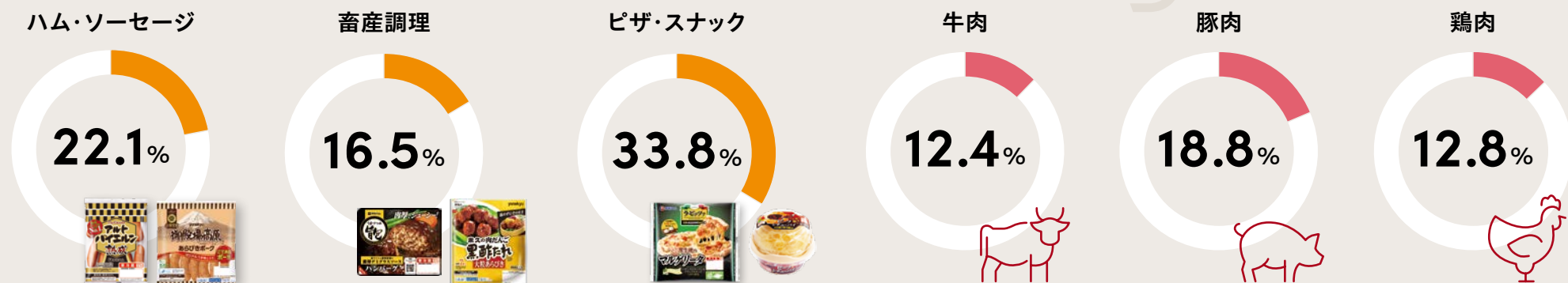
■ 財務ハイライト



■ グループハイライト



■ 国内市場シェアハイライト



出典:QPR™調べ

出典:当社調べ

伊藤ハム米久グループのあゆみ

1928年創業

伊藤ハム 事業を通じて社会に奉仕する

創業者 伊藤傳三が大阪府大阪市で「伊藤食品加工業」を個人創業しました。「日本の食生活を向上させたい。」その思いから、ハム・ソーセージをはじめとする食肉加工食品の独自の開発を行い、動物性たんぱく質を大衆化させました。「食べる」ことの喜びや楽しさ、大切さを伝えていくことを使命として、おいしさの伝承と追究を続けています。



1965年創業

創業60周年

yonekyu 感動を創る

創業者 庄司清和が静岡県沼津市で食肉加工と卸売を目的とする「米久食品」を個人創業しました。「新鮮な驚きを商品に吹き込み、大きな感動を創造すること」が米久の成長の要であるとの庄司社長の考えのもと、個性あふれる商品を次々と販売しました。感動を創るためにすべきアクションは何か、常識にとらわれず、新たな挑戦を続けています。



ORIGIN

2016

伊藤ハム米久ホールディングス誕生

2016年に共同持株会社として「伊藤ハム米久ホールディングス」を設立しました。

HOP

2016-2020

中期経営計画2020

第二の創業

伊藤ハム米久グループにとっての第二の創業期と位置づけ、中期経営計画2020では、「自ら考え、行動する」をスローガンに施策の実行に取り組みました。「事業規模拡大」と「効率化・競争力強化」の2つを基本戦略とし、海外生産持分やハム・ソーセージのシェアを拡大しました。並行して間接部門・物流部門の組織機能の統合・再編を実行し、業務効率化を進めました。

2020年度
実績

売上高 **8,427** 億円 経常利益 **270** 億円

重点施策

事業規模拡大

- ・2017年 ANZCO FOODSの100%子会社化
- ・2018年 調理加工品に特化した取手第二工場を新設
- ・2019年 明治ケンコーハム(株)買収

効率化・競争力強化

- ・2016年 間接部門の組織再編を開始
- ・2018年 伊藤ハム・米久の物流部門を統合・再編

ANZCO
FOODS



取手第二工場

STEP

2021-2023
中期経営計画2023

統合の深化

中期経営計画2023では「既成概念の打破」「強みの再認識」を基本指針としました。経営基盤・収益基盤固めのため営業・生産部門の機能別再編や生産体制の強化を進めました。また、サステナビリティの取り組み強化や新規事業・市場への取り組みをスタートしました。

2023年度
実績

売上高 **9,556** 億円 経常利益 **260** 億円

重点施策

経営基盤の強化

・2023年 伊藤ハム米久グループの営業・生産部門を機能別に再編

収益基盤の強化

- ・2023年 冷凍食品製造に特化した伊藤ハム米久プラント(株)夢工場稼働
- ・2023年 サンキョーミート(株)伊佐ミートプラント開設
- ・2024年 IHミートパッカー(株)十和田ビーフプラント竣工



IHミートパッカー(株)
十和田ビーフプラント

新規事業・市場への取り組み

- ・2021年 大豆ミート商品の販売拡充
- ・2023年 産学共同で培養肉未来創造コンソーシアムを設立



新たな飛躍

グループ理念・ビジョンの実現に向け、2035年に目指す姿を「meat together」と定め、その実現のために長期経営戦略2035と中期経営計画2026を策定しました。

📖 長期経営戦略2035と中期経営計画2026の概要 ▶ P.13

2026年度
目標

売上高 **10,000** 億円 経常利益 **300** 億円

2035年に
目指す姿

meat
together

meatの領域を一層拡大し、
世界中に感動と笑顔を
お届けします

ITO HAM YONEKYU HOLDINGS
Group Slogan 2035

JUMP

2024-2026
中期経営計画2026

2024-2035
長期経営戦略2035

伊藤ハム米久グループはどうやって企業価値を向上させるのか

当社グループは「稼ぐ力を高める」「新たな価値を創る」「レジリエンスを高める」という3つの視点を通じて中長期的な企業価値の向上を実現していきます。

長期経営戦略2035および中期経営計画2026に基づく事業戦略を着実に実行することで稼ぐ力を高め、創出したキャッシュをもとに成長投資を行い、飛躍に向けた新たな価値を創出していきます。さらに、事業環境の変化に柔軟に対応することで、事業の基盤となる企業としてのレジリエンスを高めてまいります。

私たちは変革と挑戦を恐れず、持続的な企業価値の創造に取り組んでまいります。



稼ぐ力を高める

▶ P.17

商品の磨き上げや販売力の強化を通じて基礎収益力の底上げに取り組みます。創出したキャッシュを原資に、安定的な株主還元と成長投資を両立させ、飛躍的成長につなげていきます。



新たな価値を創る

▶ P.24

日本という成熟市場で勝ち抜くため、国内バリューチェーン価値の最大化と食肉・食肉加工にとどまらない事業領域の拡大に取り組みます。さらに、海外事業の成長加速を進め、新たな価値を創出していきます。



レジリエンスを高める

▶ P.27

先行きが不透明な事業環境下でも、変化に柔軟に対応し、着実な成長へとつなげていくべく、経営基盤の強化に取り組んでいます。コーポレート・ガバナンスの強化やマテリアリティを指針とした中長期的な課題解決など、全社的に取り組みを推進しています。

And what do we do?